

- 「扉」編集長 あいさつ
- 聖母園グループホーム
・継続は力なり
- 特別養護老人ホーム聖母園
・利用者様、職員 大集合
- デイサービスだより
・旅路の荘
・いぶきの家
- 大刀洗町在宅介護支援センター
- 養護老人ホーム聖母園
・暑中お見舞い申し上げます。
- 腰痛予防教室
- 特別養護老人ホーム聖母園
・医務室
- 平成26年度希望の丘サービス改善委員会報告
- 海の星保育園通信
- 聖母園俳句会
・橋本幸子 選
- あったかカフェ「いぶき」



第 100 号
 発 行 希 望 の 丘
 発行年月日 2015年7月15日
 印 刷 聖 母 の 騎 士 社



「扉」編集長あいさつ

「扉」をあけて



海の星保育園 園長
鳥羽清治



「扉」発刊100号を迎えることができました。当時の園長であった糸永神父様と萩原事務長（現在の常務理事）の後押しを受け、昭和55年に第1号が発刊されました。「扉」を開けて35年の歳月が流れたわけですが、その間に世の中も、希望の丘聖母園もずいぶん変わりました。ともあれ、これまで編集に関わっていただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。特に編集委員、聖母の騎士社には言葉では言い尽くせない無理難題をいつも快く受け止めていただき、ありがとうございました。感謝とお礼を申し上げます。

当時の聖母園は養護老人ホームのみで職員も16名ほどの家庭

的なホームでした。「養老院」と言うことばが地域の中にも残っており、善意で「慰問」に来る人が多かった時代です。もちろん措置施設ですから、入所する人たちもそれなりに理由があつたわけですが、そのことからややもすると、外出先や地域の人たちに誤解あるいは偏見を抱かせる結果を招いたこともありました。「扉」の発刊は、養護老人ホームがどのようなところか、どんな人がいて何をしているのか、それを地域は勿論もっと多くの人に正しく知って戴くことが目的でした。そして、「養老院」は昭和38年の老人福祉法の制定に伴い、「老人ホーム」という生活の場

に変わったということ、「慰問」ではなく『訪問』あるいは「交流」の為ならどうぞおいでください、と老人ホームに対する意識改革に取り組んでいる聖母園の活動等を、「扉」という季刊誌を通して発信することにしたのです。

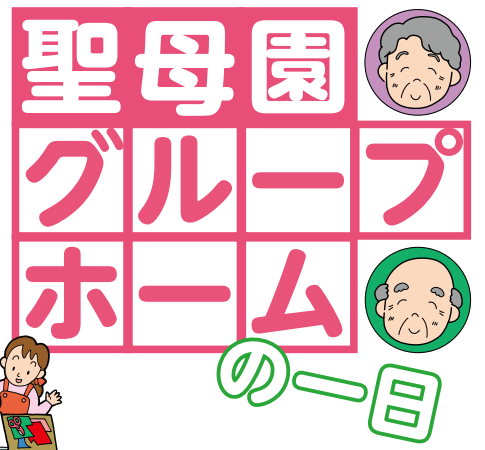
「扉」では、法人の理念と目標の実践を新たにすることを大切にしてきました。毎年、1月には理事長より年頭あいさつ、4月は常務理事より今年度の目標の具体化、9月には敬老式典における理事長挨拶を掲載することにより、法人の全職員が目標を共有し、理念に沿った自身自身の生き方をふりかえる中で、提供するサービスの質が向上しているか検証する善い機会を持つことができました。

そしてこれまでに「扉」を通して多くのすばらしい出会いと感動をいただきました。利用者や家族の皆さま、地域の皆さまは勿論、聖母園を支えて下さった多くの方々に心より感謝とお礼を申し上げます。

今では福祉を取り巻く環境も変わり、法人の規模や地域社会において果たすべき役割も拡大しています。時代が移り、制度改革がなされ、内容はともあれ高齢者に関係する施設やサービスは巷にあふれ、高齢者福祉は巨大な産業と化しています。国の財源が不足するといひ、浅く広く質より量の時代、過酷な労働を強いられても報酬に結びつかない介護職員の現実が、介護人材不足という負のスパイラルを引き起こしています。

広報の在り方も大きく変わってきました。この「扉」も紙媒体を電子媒体に変えるのか、あるいは各事業所の責任において、活動をネットで紹介するようになる可能性も大です。

しかし、このような時代だからこそ、たとえ「扉」を閉めても、利用者やその家族、希望の丘で働く職員の苦勞や達成感、生きる喜び、地域社会の人たちの声を、要望を、法人の理念に照らして伝える責務を痛感させられています。



「継続は力なり」
 ～忘れても大丈夫～

聖母園グループホームでは、開設以来、日中はテレビをつけずに、できる事に取り組んできました。野菜の皮むき・裁断・野菜揃え・洗濯物たたみ等の家事はもちろんですが、計算ドリル・数字盤（100マス・50マス）、パズル、音読、書き取り等に取り組み、集中力の継続、記憶力の維持と言った結果が得られています。ご本人の得意な事、好きな事を継続する事で自信に繋がり、穏やかな気持ちで自分らしく暮らしています。



1時間程かかっていた方が、毎日の取り組みにより約30分で完成出来るまでになりました。100マス数字盤は、早い方で5分を切る挑戦をしています。聖書などの書き取りでは一



間ほど集中し、できあがりの満足感はその後の積極的な生活に繋がっています。音読では、情景文・短歌・物語などを声に出して読んでいます。意識的に声を出すことで、自分の意思をはっきりとした言葉で伝えることができ、高齢でも安定した声量を維持する事ができています。

好きな事、できる事に取り組む事で見えてくる「その人らしさ」は小さな毎日の積み重ねの中にあります。忘れること・分からない事への不安もある方々ですが、周りの援助者はできない事をさりげなく支え、安心できる環境を整える事。できること、出来そう

なことに目を向け『今』を自分らしく生きる事で笑顔ある穏やかな暮らしが継続出来ています。

認知症は、脳の老化が大きく関係する病気です。長寿と認知症は、実はセットです。

認知症の発症は、85歳を過ぎると3割ですが、95歳以上だと8割の方が認知症になると言われています。予防していても長生きすれば認知症になる可能性はありますが、日頃から脳を鍛えましょう。

『脳を守るには?』

- ☆運動（同時に二つの事）
- ☆コミュニケーション
- ☆良い睡眠
- ☆野菜、果物、青魚、腹八分

ご家庭でも簡単にできる事として、新聞の興味ある記事や好きな本を音読する。簡単な計算に取り組み。100から7を引きながら散歩をする。友人と体を動かしながらしりとりをする。など、できるだけ人との関わりを大切に元気に過ごしましょう。

（橋本）



特別養護老人ホーム 聖母園

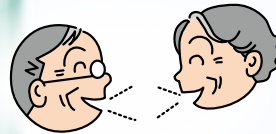
利用者様・職員 大集合!!



空ユニット



事務室



暁ユニット

虹ユニット



昭和55年2月29日に「扉」第1号が発行され、今回、第100号を迎えました。私が生まれる前から扉の歴史は始まっていたことに驚きを感じます。

そんな長い歴史を持つ「扉」に私は、第80号から編集作成に関わらせて頂いています。初めは、自分に来るのだろうか：特養で生活する利用者様の様子をどんな風に扉を通して伝えていこうか：と悩んでばかりでした。どの利用者様も紹介したいという思いはあっても、誌面の都合で泣く泣くカットした場面もありました。言葉だけでなく、文章や写真を用いて『人に伝える』という事の難しさを学んでいます。

誌面の編集や作成は大変な事ですが、扉を楽しむにしている利用者様や「うちのお母さんが載ってましたね」などご家族様の声を聞く事が作って良かったと思う瞬間でもあります。扉の歴史にほんの一部ではありますが、関わる事が出来、本当に良かったと感じています。

(内田)

光ユニット



星ユニット



給食室



医務室



風ユニット



・デイサービスだより

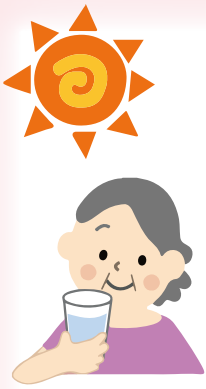
旅路の荘

夏の風に汗ばむ季節になってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

毎年訪れる夏、この夏の暑さを元気に乗りきるために汗に関する事をひとつ。

人間の体は約60%が水分で出来ているといわれますが水分は尿からだけではなく汗としても排出されます。「喉が渴いたな」と感じる時にはすでに脱水の状態であるとも聞きます。

旅路の荘では、体操の後はおちろんの事、こまめな水分補給を行っています。脱水や熱中症にかからないように、ご自宅でもこまめな水分補給と適度な塩分の補給を心がけましょう。



また、一日の活動として体操の他に個別に機能訓練を実施しています。利用者の方、おひとりおひとりに合った運動などを提供させていただきます。筋力維持や身体機能の維持・向上を図っていただいております。そして、デイサービス

の一日のメインは、レクリエーションです。毎日行う日替わりのゲームを同じチームの皆様と力を合わせ、元気一杯楽しく行わせていただいています。

また、5月は、利用者の皆様に季節感や気分転換を図っていただくために久留米ツツジ見学に行っ



がんばるぞお!!



綺麗なつつじの前にて♪

てまいりました。季節の綺麗なつつじを見て皆様からとびつきりの笑顔をいただき職員もホッカリ笑顔になりました。



6月は、三井高校の実習生来荘。将来福祉の仕事を目指す学生さんは利用者の方とお話したり、レクリエーションをしたりと自分達で企画を考え実践しています。利用者の皆様も若い学生さんから、沢山のパワーをもらい、いつもより多くの笑顔を見せて下さいました。今回は、日めくりカレンダーを作成していただき皆様の集中力のすごさと塗絵の上手さに感動しました。(有馬)



完成しました♪



何を書こうかな～

いぶぎの家

今回は、いぶぎの家での活動の一部を紹介したいと思います。

6月は食中毒の発生件数が増加する時期でもあり、看護師による食中毒予防講座を開催しました。今まで皆様が行っている予防法との違いや症状の原因（主にウイルス・細菌）や食あたりを起こしてしまった後の対応などを学びました。中には、熱心にお話を聞きながらメモを取られる方もいらっしゃいました。講座終了後には、「刺身は好きやけん買うけど、家を持って帰る時に氷は入れようんかった。今度から氷も貰って入れるごとしよう」と早速実行していく声が上がっていました。



いぶぎの家では、健康増進、筋力低下予防を第一に考え、「なってしまってから対処するのではなく、かからない・弱らない」を目標に活動しております。何もしないと加齢と共に抵抗力・筋力は衰えていくという統計が出ております。知識を得て防げるものは防ぎ、適度な運動で体力・筋力の低下を防ぎ、皆様が健康で豊かな生活が継続できるようにサポートさせて頂きます。今からは夏の暑さに注意が必要で、熱中症対策は万全ですか？こまめな水分補給が暑さから体を守ってくれます。熱中症対策講座も開催予定です。知識を得て熱中症を防いでいきましょう。（中島）

町洗大 在宅介護センター

健康長寿社会の実現……



平成27年度より在宅介護支援センターに配属になりました黒岩周子（クロイワ カネコ）と申します。現在、各地区で行われているミニデイにて「物忘れ予防についてのお話や脳トレ体操」、老人会では「健康で自分らしい教室」の開催をし、転倒予防の劇やお話、体操など行わせていただいております。現在、日本人の平均寿命は男性で約80歳、女性で約86歳と言われ世界長寿国の上位に入っている日本です。平均寿命とは別に、健康寿命という言葉があります。健康寿命とは『日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる期間のこと』です。男性で約70歳、女性は約73歳と平均寿命との間に約10年ほど開きがあります。



私たち一人一人が心豊かに生き生きと過ごせるようにしていくためには、「いかに健康で過ごすことのできる期間を長く保つか」、すなわち健康寿命の延伸と、それによる健康長寿社会の実現が、今を生きる私たちにとって最重要課題のひとつと言えます。健康長寿を延ばすためには「テクテク」「カミカミ」「ニコニコ」「ドキドキ」が大事だといわれています。適度な運動、規則正しい食事、心の健康、五感を使った運動を心がけて行っていただき健康寿命を延ばしていきましょう。（黒岩）



梅雨が明け、厳しい暑さの毎日ですがいかがお過ごしでしょうか？

養護老人ホーム聖母園では、5月18日から毎週月曜日に、海の星保育園の園児（年長）さんと一緒にラジ体操を行っています。ラジ体操を通して、園児さんとの交流を深める、週一回の楽しみが出来ました。

さて皆様、これから夏本番です。益々、暑くなりますので強い日差しを避け、水分補給と塩分を細目に摂りながら熱中症にならないよう身体に気を付けてお過ごしください。

養護老人ホーム聖母園

暑中お見舞い申し上げます。

5月26日 聖ベルナルディーノのお祝い会

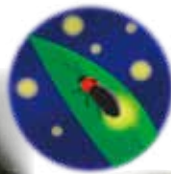


理事長様、これからもよろしくお祈りします。

理事長様を囲んで聖ベルナルディーノのお祝い会が開催されました。

6月3日 ホタル見学

朝倉郡の筑前町にある曾根田親水公園にホタルを見に行きました。夕暮れすぎると段々と光が目に入ってきます。美しい蛍を見て楽しみました。



あ！あそこにおるよ♪

5月30日 聖母賛美式



聖母園のホールにおきまして、今村カトリック教会主任神父様竹森勇師の司式のもと、御ミサに引き続き聖母賛美式が行われました。特別養護老人ホーム聖母園、聖母園グループホーム、海の星保育園の方々とともに、社会福祉法人希望の丘の事業運営のため、また、家庭内の平和と世界平和のために祈りが捧げられました。参列者がそれぞれにマリア様への献花を行い、心ひとつにして穏やかな時を過ごす事が出来ました。

聖母園中庭のルルドは、昭和62年2月11日に完成したもので、ハンセン病のために療養所で長く生活をされていた方からの尊いご寄附によって建立されました。その方への感謝を忘れることのないよう、聖母マリア様のご保護を仰ぐ社会福祉法人希望の丘では、毎年5月に聖母マリア様を賛美する催しが行われています。

6月8日 大刀洗小学校4年生との交流会



大刀洗小学校4年生の皆さんが聖母園の施設見学に来て下さいました。まずは、車椅子についてのお勉強をされ施設内を見学した後、利用者様と一緒にラジオ体操を行いましたよ！

(久保田)

腰痛予防教室



高齢者介護など社会福祉施設での腰痛発件数が増加している状況にあります。このような状況を受け福祉・医療分野等における介護・看護作業全般に、腰に負担の少ない介護介助法などを加えて厚生労働省は「職場における腰痛予防対策指針」を改訂いたしました。

希望の丘においても元気な職員がいらないと良いサービスは提供できません。

そこでエアロビクスのインストラクターでもある大刀洗町在



住の平井尚子先生をお迎えして「腰痛予防教室」を開催いたしました。腰痛で悩む人の多くは、骨・椎間板・腰周辺を支えている筋肉の衰え（筋肉量の減少）によるものが多いようです。バランスのよい食事をとるとい事も大事なことです。特に腰痛には普段の姿勢に注意すること、腰痛体操で筋肉を鍛えることで痛みを軽くすることができると言われています。

筋肉の衰えは、基礎代謝機能の低下を招き、体の疲れが残ることにもつながります。筋肉を鍛えて、腰痛防止、疲れ防止の体を作っていきましょう。

参加された職員は、翌日全身筋肉痛に悩まされたみたいです。でも、その痛みが腰痛予防の第1歩ですよ。

(江上)

特別養護老人ホーム聖母園 医務室

「利用者様の状態把握」

こんにちは、特別養護老人ホーム聖母園の医務室です。6名のスタッフで明るく優しく、元気で頑張っています。

利用者様の状態把握の為、毎日ユニット内を動き回っていますが、時折、利用者様より「今日は〇〇が痛い」など声をかけて下さ



介護職員にも勉強会を実施しています!

います。白衣も着ず、名札も付けてないのに、ちゃんと私たちを認識して下さっているのにはすごいなと思うこともしばしばです。しかし、そうやって自分の体調を伝えられる方々ばかりではありません。日頃、介護に携わっている介護職員の、「何となく元気がない」「食事が入らない」等、小さな気づきが必要で、それを私たちに伝えてくれることで、早期発見し、利用者様の生活を守ってあげたいと思っています。これからも、気づき・報告を大切にして皆様の笑顔を支えていけるよう努めていきたいと思っています。どうぞ、よろしく願います。

(青木)



平成26年度 希望の丘 サービス改善委員会報告

事業所【件数】	苦情等の内容	対応と結果【第三者委員への報告】
特別養護 老人ホーム 聖母園 【3】	26年8月。入居者家族より面会の際に申し出を受ける。居室の単筒にズボンの裾が便汚染されたまま入っていた。また、食べこぼしが付いたセーターを着ていたこともあった。衣類の管理、着替えについて細やかな対応をしてほしい。	窓口で対応した事務室職員がすぐに謝罪し、即時ユニット職員に状況を確認し話し合いを行う。一人ひとりに対する細やかな目配りや支援がおろそかになっていた。担当職員に限らず居室の整理整頓、衣類の清潔に努め、こまめな着替えを行い、安心した生活が送れるよう支援する事を家族に説明し、改めて謝罪を行った。【報告済み】
	26年10月。家族よりシーツ交換や居室掃除がされていないとの申し出を受ける。本人は職員に対しての気兼ねもあり、言えないと思うので十分配慮して欲しい。	ケアカンファレンスの際申し出を受ける。その場で謝罪を行う。身体介護ばかりを優先し、居室の環境整備、寝具の整備が後回しになっていた。業務内容を再度見直し、定期及び随時に実施する体制を整えた。また、本人の言い出しにくい気持ちにも配慮し、声掛けを行い意向を確認しながら細やかなケアを行っていく事を徹底した。【報告済み】
	27年2月家族より。昨年末に施設から連絡を受け、母親の通院付添いに同行した。受診結果、インフルエンザであった。密室で長時間の付き添であった為自らも感染した。地域では役職にも就いておりその業務の繁務時期と重なり、非常にきつい思いをした。通院付添いの協力は今後もしたいが、感染症流行時期等は施設職員で対応して欲しい。	ケアカンファレンスの際に申し出を受ける。その場で謝罪を行う。その当日の状況は感染症流行の時期で、聖母園でも感染症蔓延防止対策をとっており、施設での看護体制が手薄であった為、事情を話したうえで付き添いに協力して頂いた。しかし通院付き添いについては、状況を見極めながら対応していくこととした。【報告し、家族の意向の通り通院付添については、適切に行ってほしい旨、指導を受ける。】
聖母園 ショート ステイ 【1】	担当居宅介護支援専門員を介して、特定の職員のケアが乱暴で怖い思いをしたので、今後は利用したくないとの申し出を受ける。	申し出を受け、その職員に対して面接を行う。その職員としては適切な声掛けや介護を行ったつもりであったが、それが乱暴な対応として受け取られていることを真摯に受け止め反省した。後日ショートステイを利用された際、本人、家族に「利用者の思いに配慮したケアをする」ことを伝え謝罪し了解して頂いた。【報告済み】
聖母園 グループ ホーム 【1】	平成26年10月25日のケアカンファレンスの席で、キーパーソンの方より、入所時にお願いしていた、『伝達事項はキーパーソンにして下さい』が徹底されていないとの申し出がある。キーパーソン以外の御家族に面会の折に衣類などの件で伝達した為と思われる。	入所時の家族による申し出はその時点でスタッフへ伝達は行っていたが、再度、伝達事項については、キーパーソンのみで行う事を会議を通じて徹底した。さらにその後も、スタッフ間での申し送りなどでも確認しながら継続している。【報告済み】
デイサービス 旅路の荘 【1】	平成26年12月18日、デイ利用者をお送りした際に、本人の食事摂取量が少ないことをご家族に伝え、「こういった方法を試してみてもどうか…」と助言している。家族としては、自宅で様々な方法を試しており、その時の職員からの言葉が「家族が何もしていないかのように責められているように感じた。」とのこと。また、11月27日にお迎えの職員が、利用者のすり傷を発見し、近所にも聞こえるような大声で「この傷どうしたの?」といった配慮のない言動があった。両件を併せて12月20日にケアマネージャーを通じて連絡がある。	12月20日(土)午後訪問後の担当ケアマネージャーよりデイ職員が報告を受け、施設長に電話報告。同日施設長が自宅にて詳細を確認し、利用者・ご家族の立場により添えていない言動に対して謝罪する。施設長より担当した職員に事情を聴き、併せて利用者・家族への配慮と注意を促す。また、苦情を受けた職員だけではなく、すべての職員でもありうることとして自分たちの言動を振り返り、介護サービスを提供する専門職として、本人・家族介護者の立場に寄り添える言動をしていく事を会議を通じて周知徹底した。【報告済み】
聖母園 ケアプラン サービス 【2】	ショートステイの日程変更を家族から受け付けていたが、ケアマネージャーがショートステイ担当者に伝え忘れており、終了日に自宅に帰ってこなかったことから、家族より「まだ、帰ってこない」と問い合わせの連絡がある。	自宅まで本人を送り届け、家族に対し担当ケアマネージャーの連絡ミスであったことを伝え、謝罪する。対応と謝罪に対し理解を示される。連絡ミスをなくすために、すぐに伝えることができない事項についてはメモに確実に残り、伝え忘れをなくすようにしている。【報告済み】
	デイサービス利用日をサービス利用票、提供表に入れ忘れていた。利用者は利用日と思っていたが、迎えが来ないことに立腹される。また、ケアマネージャーのその後の謝罪や対応に誠意がないことにも不満を口にされる。	利用者に対し、利用票作成時の確認不足があったこと、その後のケアマネージャーの対応について主任ケアマネージャーより謝罪を行い、対策を検討することを説明し理解を得る。担当ケアマネージャーについては管理者と面接を行い、是正を促す。利用票、提供票については作成時と配布時に2重にチェックし、サービス事業所にも間違いがないかを確認するようにしている。言葉遣いや業務態度については、事業所内で接遇、マナーについての勉強会を行い、相手を不快にさせない振る舞いができるようにしている。【報告済み】
海の星保育園 【1】	大刀洗町教育委員会子ども課より、本園のクリスマスお遊戯会について12月24日に匿名の苦情が上がっているとの連絡を受ける。内容は、保護者の出し物(去年は歌)に出たくないことと、子どもの衣装が手作りだが働いているのでそんなに時間をかけられない、というものである。	この2件については、保護者の出し物は強制ではないこと、また、子どもの出し物は、グループに分かれて保護者で決めるので、経費や準備の時間ができるだけ掛からない工夫をお願いしていること。保護者会理事会で諮り、決められていることを子ども課に説明する。次年度の理事会、保護者会でも改めてお願いするようにしたい。【報告済み】



うみのほしつうしん

題字:水田瑠依さん(5歳)



組体操 at 大刀洗小学校運動会

海の星保育園と言えば…組体操♪

今年も年長児・年中児27名が大刀洗小学校運動会で堂々と組体操を披露しました！ 沢山の方を目の前にし、緊張と不安に押しつぶされそうになりながらも、広い運動場で小さい体をめいっぱい動かし、最後まで頑張りました!! 10月の運動会では、また、一回り大きく成長した子どもたちが新しい技の組体操を披露します！是非近くでご覧下さい♪



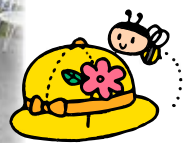
親子バス遠足



クイズの答えは…
「えっと…
なにかな」

かしい花園へ親子バス遠足に行きました！

大型バスに乗り大興奮の子ども達♪
バスの中では、歌をうたったり、クイズをしたり…
あっという間に到着!!
かしい花園の綺麗なお花に迎えられ、おうちの方、お友達と一緒に、お弁当を食べたり、遊具で遊んだり、たくさんの笑顔が見られました♪



はい、チーズ♪



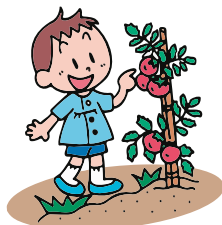
食育活動の様子

海の星保育園の子どもたちは、自分たちで野菜を育てたり、クッキング活動をしたり、地域の方の御厚意をいただいたりしながら、季節によって様々な食材にふれております。ただ給食で食べるだけではなく、栽培しながらどんなふうに育つのか期待を持って育てています。その為、苦手な食べ物もおいしく感じる様でたくさん食べてくれますよ！



たくさんとれたよ～♪

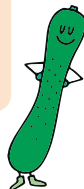
じゃが芋掘りに行ってきました!! 大きい芋や小さい芋、なかにはハート♡のじゃが芋まで見つかりましたよ。子どもたちは大喜びでした。



ゴーヤー、トマト、きゅうりを作っているよ！
おおきくなーれー♪



たけのこってどこまで皮をむいたらいいの？
そんな疑問も園長先生に教えていただきました！



2歳児、たんぽぽ組さんがはじめてクッキングを行いました。ペットボトルに生クリームを入れてシャカシャカ振ると……なんと手作りバター完成です♡
みんなで、クラッカーにぬっておいしくいただきました!!

えだまめってこうやって育つんだ～！
えだまめが成長すると大豆になるんだって！



約20分



聖母園俳句会



橋本幸子 選

選者近詠

梅雨の蝶

影曳いて草にしづめる梅雨の蝶
何よりも梅雨の晴れ間の庭仕事
紫陽花に弾む見慣れてぬし庭も
供華に剪る花も淋しや梅雨に入る
励ましの言葉涼しき集ひかな

(平成二十七年四月聖母園俳句会)

【特選】

道の端の小さき花のいとしさよ
部署ごとに新任揃ふ四月かな
空いっばい春が弾けて旅つづく
新年度始まってをり麦青む
新緑のしたたる頃の茶摘かな
着工の待たるる土地に花の雨

黒岩トシ子
萩原 逸子
片山 スウ
萩原 逸子
石橋 昭二
萩原美代子

はいはいの児のたくましく初節句
タラの芽をかごいっばいの野に遊ぶ

【本選】

わが罪を心にきざむ四句節
春風のまだまだ寒い散歩道
桜咲く笑顔と共に宙に舞ふ
春のものの花瓶に摘んで散歩かな
病床に卵届くる復活祭
チュンチュンと春のお迎へ通勤路
寒い朝春なのにと誰かいふ
くしゃみ出る寒の戻りの雨となる
復活祭アレルヤの鐘ひびかせて
合格の報に安らぐ春の宵
古里へむけて出発汐干狩
孫負うて春雨の中小走りに
百才の記念樹囲み花の宴
入学の子のはにかみて挨拶す
園庭にカチの巣組の忙しく
中庭のつばみふくらむ八重桜
八重桜きれいに咲いて人目引く
春潮にのりてスカツと高速船
予報士の笑みて報ずる花開花
雨降りて桜の早も散りはじむ
弁当に一味加へし桜かな
初節句孫に勇ましかぶとかな
朝桜つばみふくらむ日をあびし
早々と葉桜になる温暖化
アレルヤを歌ふ喜び復活祭
年金の増額の報弾む春
春の野に心弾める車椅子

福田 博志
萩原アサエ
今藤 敦子
黒岩トシ子
深見 ユリ
前原 健輔
萩原 逸子
前原 健輔
森山ツヤコ
萩原 逸子
萩原アサエ
森山ツヤコ
片山 スウ
福田 博志
萩原美代子
片山 スウ
齊藤賀壽子
鬼塚 武
片山 スウ
深見 ユリ
田中 葉子
藤野 明美
福田 博志
齊藤賀壽子
石橋 昭二
萩原美代子
谷口由美子
萩原アサエ

イースター卵づくりを子ども等と
春がすみ遠くに美濃の影うすく
別れ霜娘のこしてバス発車

(五月聖母園俳句会)

【特選】

河骨の花に誘はれ水辺まで
遠い日を想ひ起こせし粽かな
河骨を日よけにゆらす鯉の群れ
老鶯や山湖の景を深くして
雨上るより深々と新樹かな
しづく茶をのめば残り香ほのかにも
清貧を心にきめて更衣

【本選】

麦秋や日々変はりゆく散歩道
茶畑の広がる里や風薫る
奥八女の新茶ただく記念館
放牛もくつろいであし若葉かな
園内の花をしたひて蝶の舞ふ
五月雨や目覚めて夢の父母恋し
新緑の木々にみなぎる氣勢ひかな
奥八女の景色の深く新樹かな
巣ごもりをふわっと包み楠若葉
草萌ゆる小道の端に佇みて
河骨の花咲く湖畔人寄せて
薫風に黒髪揺れて通学路
中庭の垣根のつつじ今見頃
吟行の旅に寄り添ふ初夏の風
さざ波に水面に映す新樹かな

谷口由美子
萩原アサエ
藤野 明美
萩原アサエ
石橋 昭二
前原 健輔
片山 スウ
萩原 逸子
深見 ユリ
萩原美代子
藤野 明美
福田 博志
萩原アサエ
片山 スウ
黒岩トシ子
石橋 昭二
萩原美代子
片山 スウ
池田 精蔵
萩原 逸子
池田 精蔵
鬼塚 武
萩原美代子
深見 ユリ

蛩狩目にも優しいコンサート
 河骨の香りにそまる鯉のむれ
 ビール麦よき収穫を祈りつつ
 河骨や神秘的なるしづけさに
 バスハイク新緑の山美しく
 新緑や一層濃くなる木々たちよ
 麦笛を器用に吹く子帰り道
 若葉風吹き満ちてをり星野村
 一雫甘さ広がる新茶かな
 風薫る抹茶ソフトを頬張りて
 くちなしの花ゆるやかに香をたつる

森山ツヤコ
 前原 健輔
 齊藤賀壽子
 田中 葉子
 今藤 敦子
 森山ツヤコ
 藤野 明美
 萩原 逸子
 萩原アサエ
 原田 洋
 福田 博志

〔六月聖母園俳句会〕

〔特選〕

朝つばめミサの帰りに飛び交へる
 梅雨空に巡礼の旅心して
 巢作りの燕返しや鮮やかに
 父老いて庭も畑も草茂る
 ふる里の小さき御堂梅雨に濡れ
 月見草夕月よりも濃く開く
 梅雨晴れて聖体行列厳かに

今藤 敦子
 萩原アサエ
 福田 博志
 萩原 逸子
 萩原美代子
 池田 精蔵
 片山 スワ

〔本選〕

明易し話尽きざる旅の宿
 田植待つ雲の流れのある水面
 大楠に守られカチの巢立かな
 新緑をめつつ友とランチかな
 更衣八十路のおの子らしくなり
 がざにわの枯れて淋しくなりにけり
 小雨降るあぢさゐロード色映えて

萩原美代子
 萩原アサエ
 片山 スワ
 深見 ユリ
 池田 精蔵
 今藤 敦子
 萩原アサエ



俳句会吟行 (八女星のふるさと公園周辺)

雨に咲くスモークツリーのあやうげに
 麦笛を吹きつつ歩む男の子
 教会の鐘の音ひびく麦畑
 五月雨も旅の思ひ出とし親し
 紫陽花の彩に教会巡る旅
 紫陽花を見上げ百段登りきる
 木下闇よりひっそりと殉教碑
 雨蛙鳴き初めてより雨となる
 巡礼の旅に老鶯鳴き継げる
 山奥の小川のきしべ蛩舞ふ
 洗たく機ふる回転の五月晴
 初なりの枇杷の実すでに鳥の餌に
 清流に添うて蛩の乱舞かな
 雨に濡れあぢさゐの花いきいきと
 紫陽花の雨しつとりと鮮やかに

福田 博志
 齊藤賀壽子
 萩原美代子
 萩原 逸子
 萩原 逸子
 田中 葉子
 萩原アサエ
 鬼塚 武
 深見 ユリ
 萩原 逸子
 片山 スワ
 今藤 敦子
 片山 スワ

善意のご寄附・ご厚意、
 心より感謝致します。
 (平成27年4月1日〜27年6月30日)

「ボランティア・交流会」

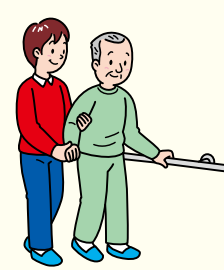
- ・モニカ会様
- ・ゆりの会様
- ・平田孝康様 (絵画クラブ)
- ・橋本幸子様 (俳句会)
- ・大塚京子様 (歌の会代表)
- ・萩原直人様
- ・岩橋樹宏様
- ・岩橋 篤志様
- ・岩橋 昂宏様
- ・大刀洗小学校四年生の皆様

「御寄贈・ご招待」

- ・萩原 義信様
- ・武田 文夫様
- ・中村 順治様
- ・松岡 正司様
- ・平田フミ子様
- ・平田康雄様
- ・古賀昌靖様
- ・内田真理子様
- ・平塚 謙一様
- ・増山 春男様
- ・松岡 吉寛様
- ・松林 一智様
- ・平田 昭良様
- ・棚町 洋子様
- ・堀田 久治様
- ・重富 忠能様
- ・田代 智浩様

「御寄付」

- ・矢永 一臣様
- ・小野 秀久様
- ・西川 永世様





あったかカフェいぶきは7月でオープン4カ月を迎えました。オープン時間は現在13時から16時までとなっております。

現在の活動として13時から、パズルや塗絵、裁縫、談笑など自由な活動時間です。それぞれのテーブルで楽しく過ごされている皆様の笑顔を拝見しながら、私たちもホッコリ笑顔になります。



活動時間の中で2回、一旦皆様に手を休めていただき、脳トレ楽々体操や、音読、身体機能維持向上のための体操などを行わせていただいております。その後は、終了時間まで自由な活動となり、あちらのテーブルこちらのテーブルから楽しい笑い声が聞こえてきます。

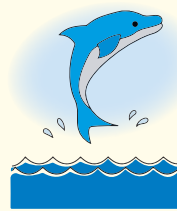
今後もっともっとカフェも進化しながら、皆さんと一緒に、元氣一杯、笑顔いっぱい過ごさせていただきます。

皆様のお越しをお待ちしています。(黒岩)

営業日時(月3回)
 第2回/第4回/第3回
 13:00~16:00
 ※お気軽にお越しください。

行事予定

- 7月 そうめん流し 夏まつり
- 8月 お盆 ぶどう狩り
- 9月 開園記念日 敬老の日 運動会



※当機関誌「扉」に掲載している記事、写真は、本人またはご家族の了承を得ております。

※皆様の御意見・御感想をお待ちしております。どこまでお寄せ下さい。

※当法人は、規定に基づき情報開示を行っております。

連絡先

〒8301223 福岡県三井郡大刀洗町 491番地
 TEL 0942(77)0085
 FAX 0942(77)2983
 ホームページアドレス
<http://www.2s.biglobe.ne.jp/~seiboe/>
 電子メールアドレス
kiboonooka@ky.biglobe.ne.jp

編集後記

今回、扉が100号を迎える。35年の歴史である。私も、扉の編集員として、80号から携わっているが、今回卒業を迎えることとなった。記念すべき100号に関われることを、誇りに思う。そして、感謝の想いで一杯である。目を閉じると、私に関わった20号分の思い出が蘇る。「扉」をどれだけの皆様が目を通して下さったのだろうか？ ネット社会となった現代。パソコンや携帯で簡単に最新号を見る事ができる。だが、データの「扉」は、皆様の記憶に心にどれだけ残るのだろうか？ 本や新聞といった紙媒体での文章が完全に無くならないのは、紙媒体の重要性を求める人がいるからではないだろうか？

どんな時代になろうと、本当に大切な物が無くならない世の中であって欲しいと思う。

大切な物を見極め、守る信念を持った人になりたいと思う。ただ頑固に受け入れないのではなく、あらゆることを柔軟に受け止めながらも、本当に大切な物を見極められる人に。

(川端)